

incomplete wall

- 地方都市郊外部における生活体験型クライミングガルテンの設計 -

program - 地方への移住を促進する施設の計画 -



design - 生活の魅力を明示する住空間の設計 -



地方都市郊外の人口減少による諸問題

解決策

高齢化、過疎、後継者不足、etc... →

移住における不安要素



I・U・Jターンの促進

日常生活上の相互理解

移住における不安要素は観光・レジャーでは払拭できない。

観光・レジャー



観光業者と観光客の関係

生活体験



住民と住民（仮）の関係

日常生活を想定した生活体験により不安要素を払拭する。

I・U・Jターンによる移住

都市部から地方へ移住する、I・U・Jターンを促進し、人口減少による諸問題を軽減する。



生活のブランド化

相互理解の取り組みが増加すると移住者の獲得が競争化する。

ブランド牛 牛ステーキ肉



ブランド生活

固有の魅力的な生活を明示することにより、特異的な価値を獲得。



固有の魅力あるブランド生活により移住先として選ばれる。

滞在型クラインガルテン

農業体験を行う施設



長野県松本市 坊主山クラインガルテン

滞在型クラインガルテンとは

クラインガルテン・・・一時的に借りることができる小規模農地。日本では地方の休遊農地の有効活用方として注目されている。

滞在型クラインガルテン・・・農地に簡易宿泊施設を併設したクラインガルテン。週末の農業体験や二地域滞在などに利用されている。

滞在型クラインガルテンの特徴

全体配置



大きな敷地にまとまって建設されたテーマパーク的なものが多い。

機能



観光レジャーを目的とした体験事業などが多い。

ラウベ



戸建ての簡易宿泊施設。プライベート性の高い滞在ができる。

長野県立科町 信州蓼科農ん喜村

お試し期間付分譲住宅兼地域住民共用施設

II

「生活体験型クラインガルテン」

移住体験を通じて街の生活を気に入った移住希望者が、体験後に住宅として購入できる施設。

移住希望者

お試し移住期間を利用し、本施設での生活体験を行う。その後、街での生活や人間関係を気に入った場合に住宅として購入し、定住者となる。

地元住民

併設されている共用施設（野菜直売場、公民館等）を利用しながら、移住希望者と日常生活上の交流を深める。交流を通じて、自身の街固有の生活の魅力を自覚する。

生活体験型クラインガルテンの概要

- 季節に関係なく滞在でき、滞在期間は最低1年間である。
- 使節においてタネを積極的に活用できる。
- 体験者専用施設と共に施設が対となり、街に散在している。
- 共用施設は観光事業ではなく、日常的な活動に使用する。
- 1年以上の体験を行った利用者は、住宅として購入できる。

(日常生活上の相互理解+生活のブランド化)

↓
お試し期間付分譲住宅兼地域住民共用施設↓
生活体験型クラインガルテン

対象地域

長野県飯山市中条

長野県飯山市中条を対象地域とする。中条は雪山のふもとにある集落である。水資源が豊富で一年中流水にあふれ、各家庭にあるタネ（融雪池）を活用した生活が固有の情景を作り出している。



飯山の移住政策

移住政策に取り組む街

農業体験

民宿に宿泊し農業体験を行うプログラム。

飯山市では以前から移住促進政策を行っており、住民の移住に対する理解や期待も高い。しかし、現在の政策は気軽に利用し難く、また他の地域でも実践可能な政策である。

住宅斡旋事業

空き家を紹介して新規移住者を斡旋する。



program

中条のブランド生活

「タネを活用した多領域での生活」

タネ

タネとは流水を用いて融雪をはかる「融雪池」のことである。中条ではこのタネを融雪以外にも生活の様々な場面で利用している。

タネの分布

タネは流水を用いて融雪をはかるため、その前提として豊かな水資源が必要である。タネの分布は中条一帯に集中しているため、タネを活用した生活は中条固有のものといえる。

タネの情景

年間を通じて流水が見られる中条ではタネがあらゆる季節の風景となり、流れる水の音や煌きが固有の情景を生んでいる。

多領域の生活

中条では家の敷地内や隣接地に畠を持つ家が多く、**住宅の外部や周辺部にも主要な生活空間がある**。内外の生活空間を行き来しながら回遊的に多領域と関わっていく生活は、中条固有のものである。

タネ（融雪池）を活用した多領域での生活



雪を溶かす

鯉を飼う

野菜を洗う

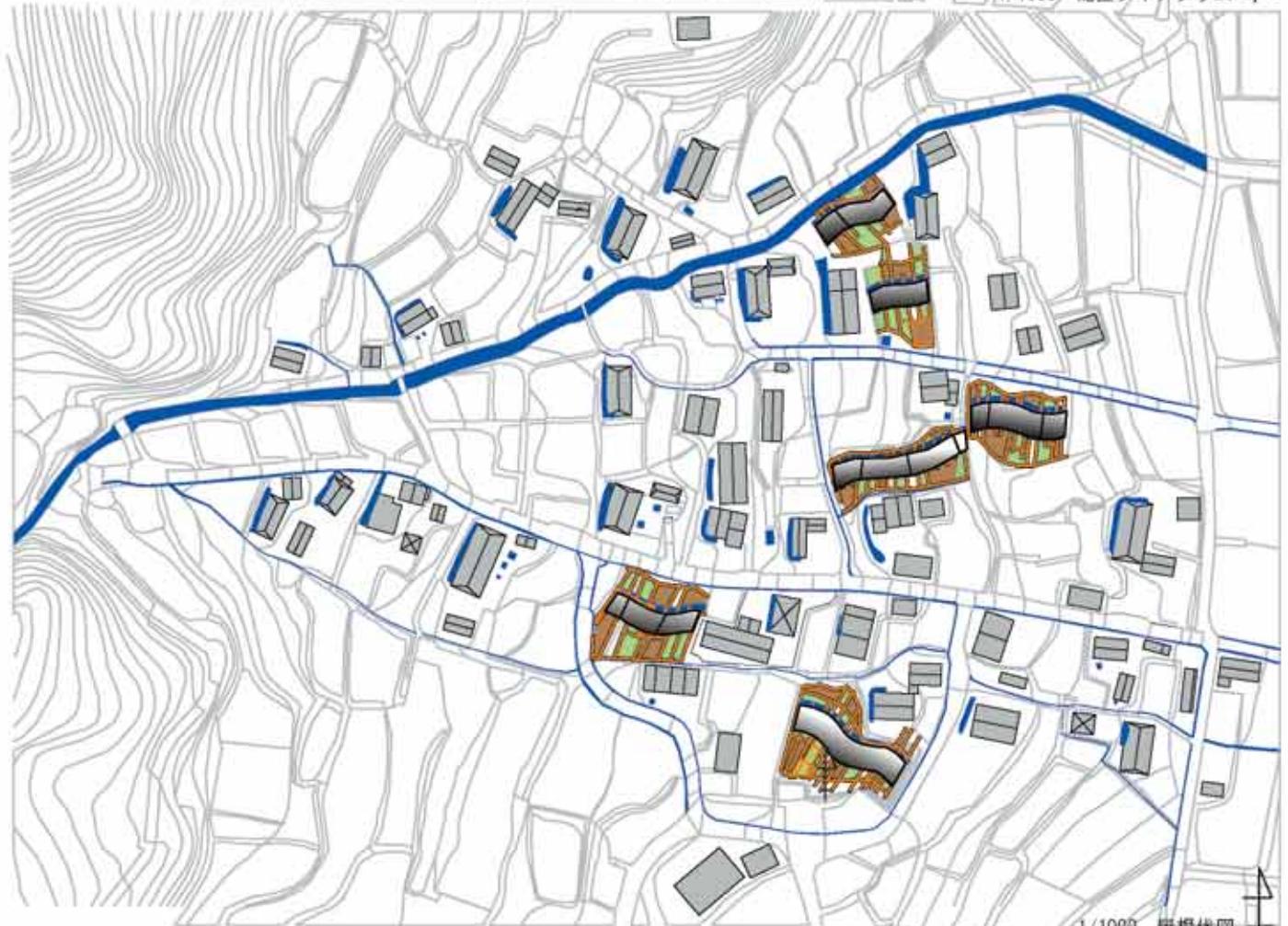
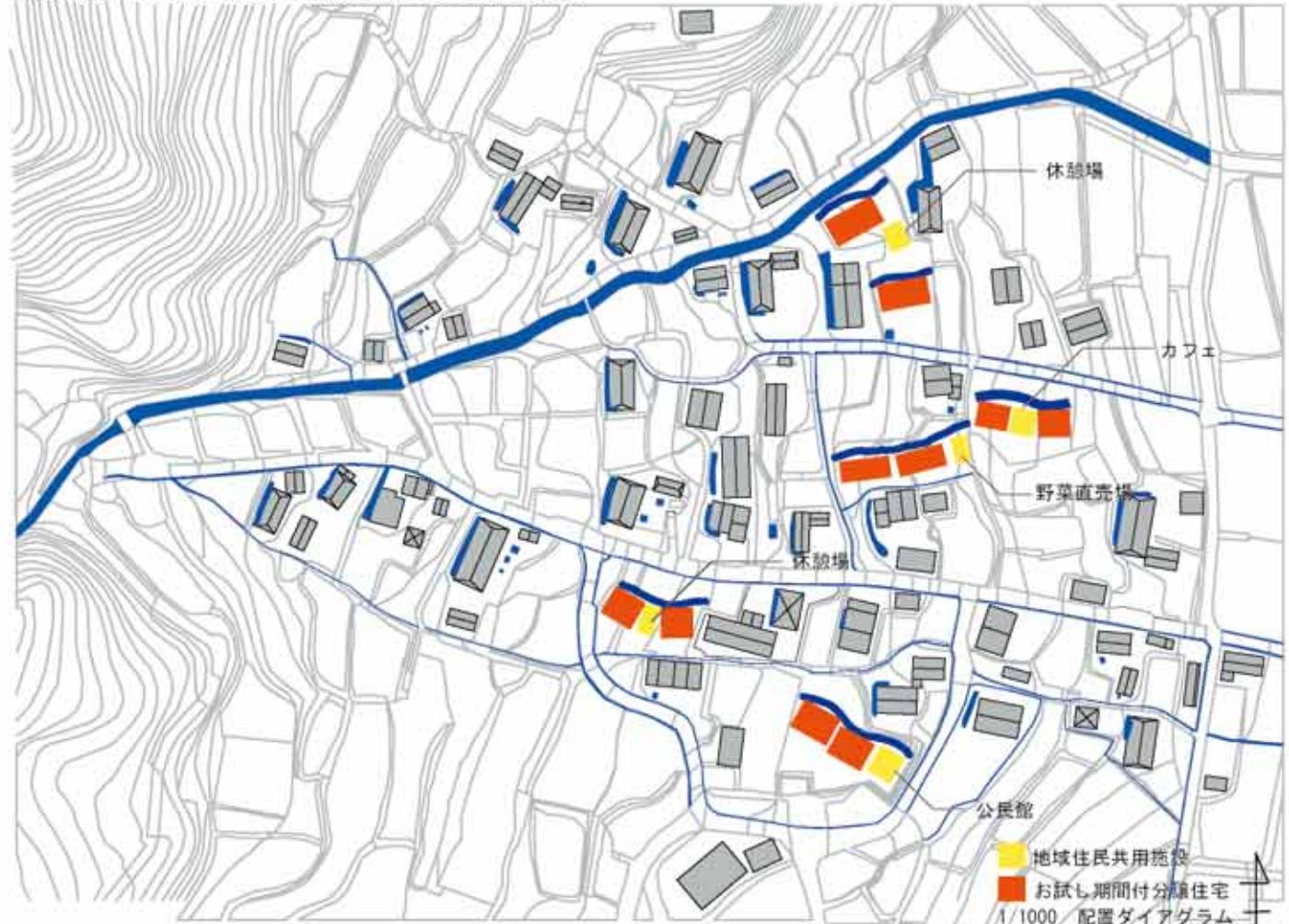
流水で遊ぶ

水音を聞く

全体配置

敷地は空き地を利用し、街中に散在するように設ける。

生活体験者の居住部と共に施設を対にして配置する。



屋根伏図

design

concept

「タネを活用した多領域での生活」
を充実させる住空間

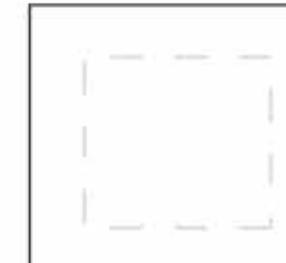
壁の不完全化

気密性の高い壁は強い境界を生み、内部空間を孤立させる。そこで、壁自身の性質を変化させ、境界に強弱をつけることで、領域ごとに適した領域間の関わり方を模索する。

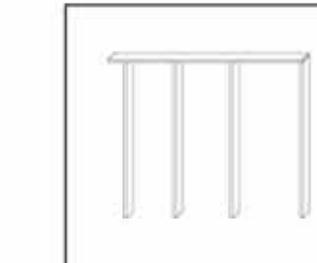
壁の性質

壁面なし
視線…通す
空気…通す
隔絶感…感じさせない

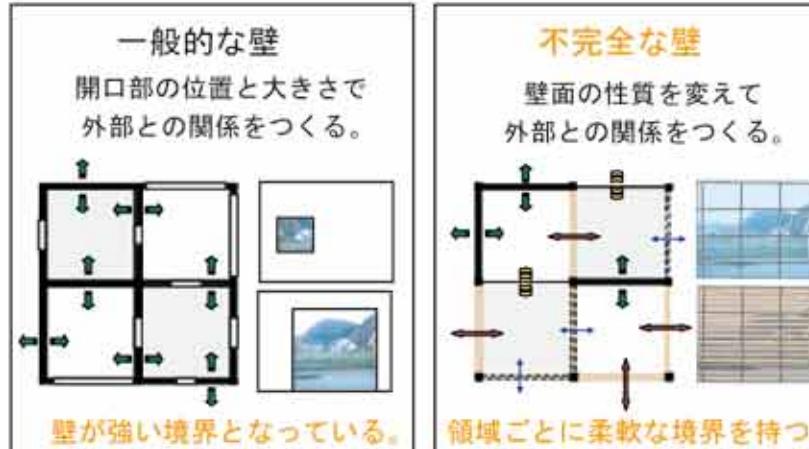
関わり方



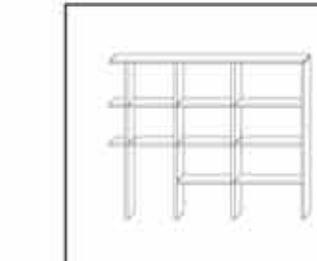
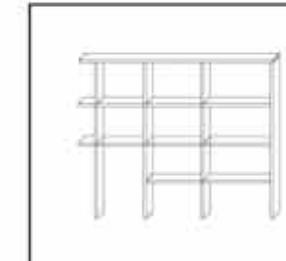
構成



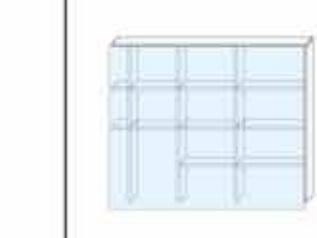
シーン



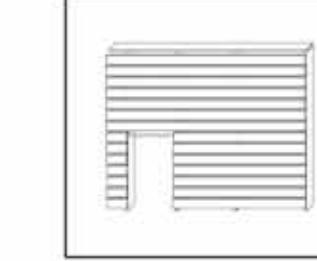
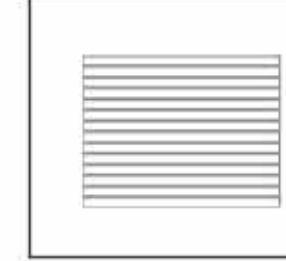
格子
視線…通す
空気…通す
隔絶感…僅かに
感じさせる



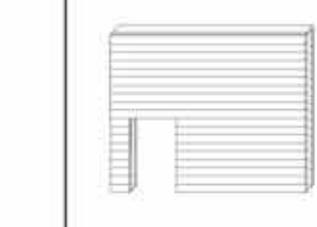
ガラス
視線…通す
空気…通さない
隔絶感…僅かに
感じさせる



スノコ
視線…僅かに通す
空気…通す
隔絶感…感じさせる



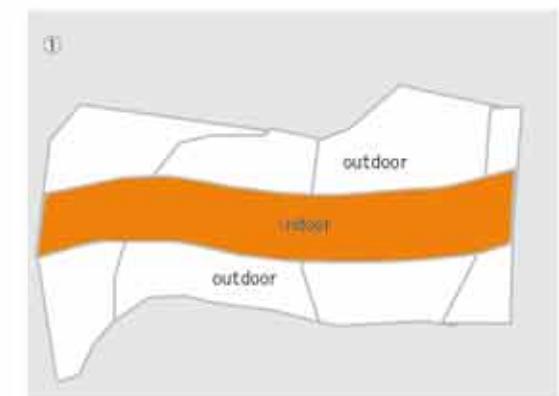
板張り
視線…通さない
空気…通さない
隔絶感…強く
感じさせる



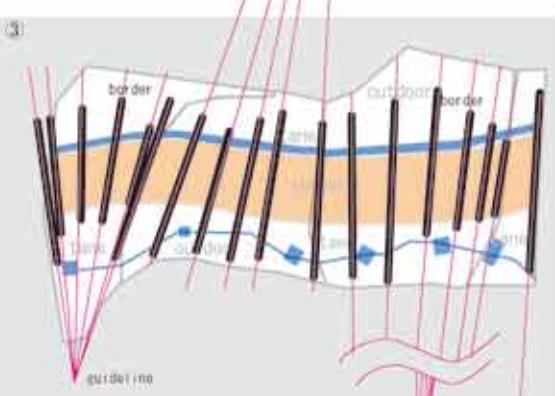
diagram

5種類の壁により領域間の関わり方を変化させる。

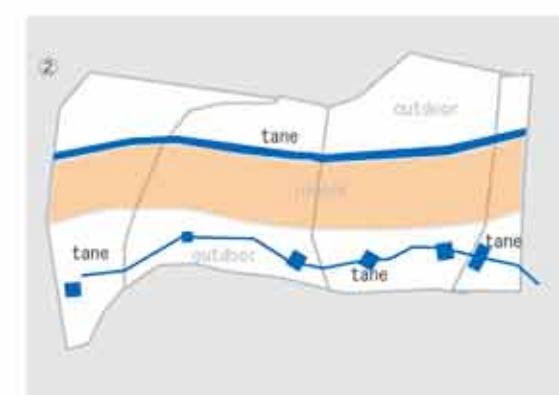
領域の操作



東西（傾斜方向）にまたがるボリュームによって、敷地内を帯状の内外部に分節する。



敷地を等分し抽出したガイドにそって南北方向に内外部を貫く境界線を引く。

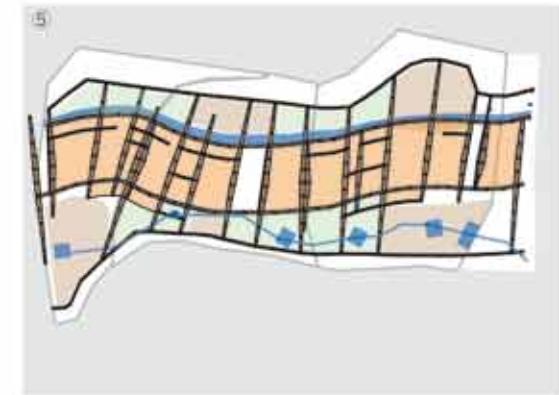


ボリュームの北側と、南側の適所にタネを配置する。

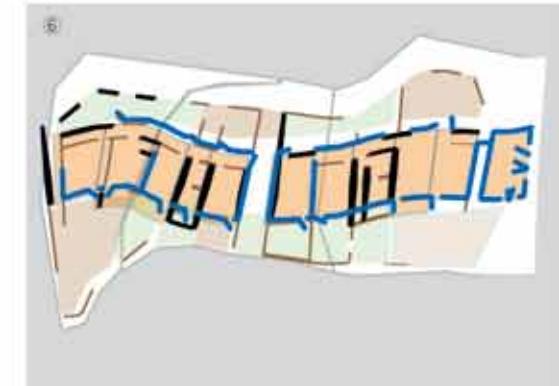
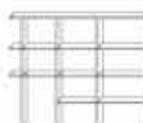


内外部間の境界線を加え、四方を境界線で囲われた領域を作る。

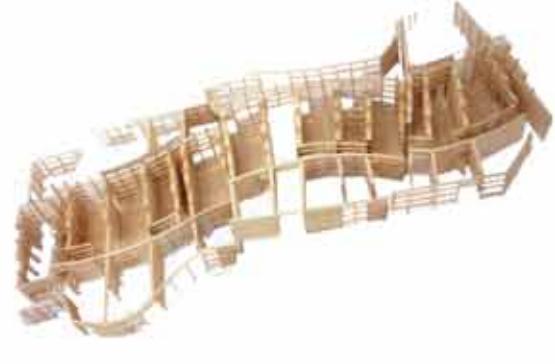
境界の操作



境界線上に格子の壁を設置する。



格子の壁にガラス、スノコ、板張りの壁面を貼り付け5種類の壁を作る。



design
plan



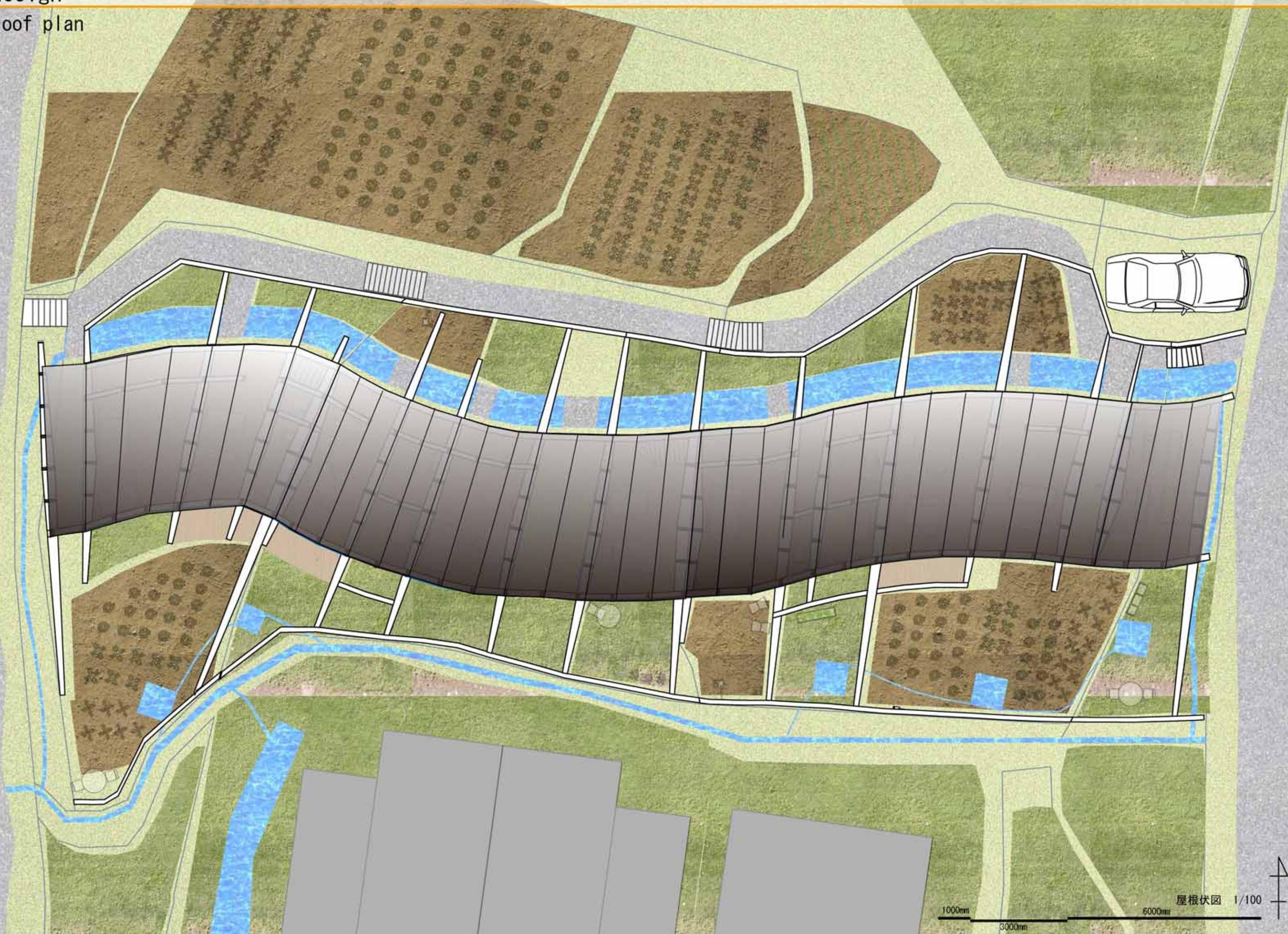
design

beam plan



design

roof plan



design
section

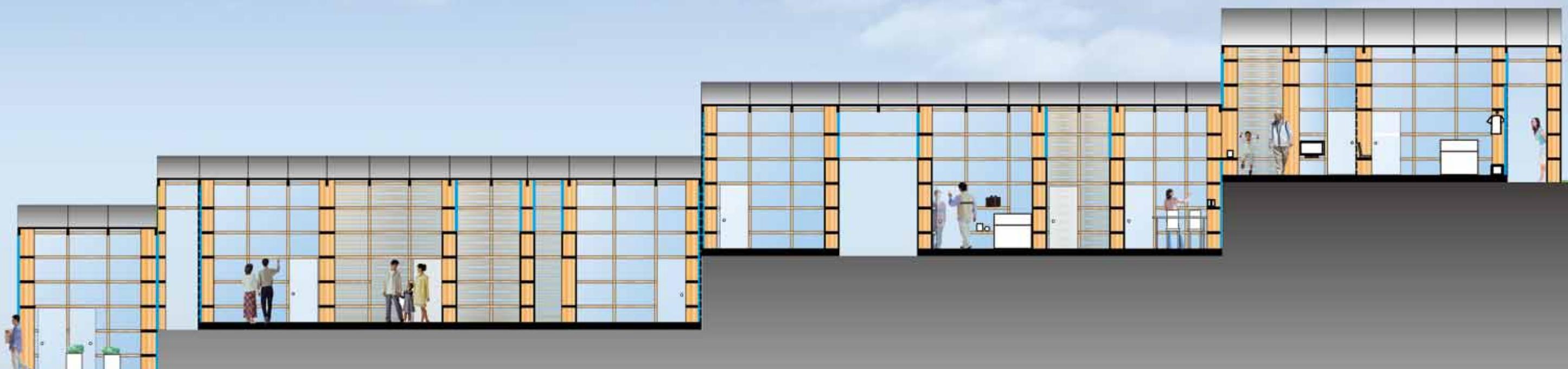
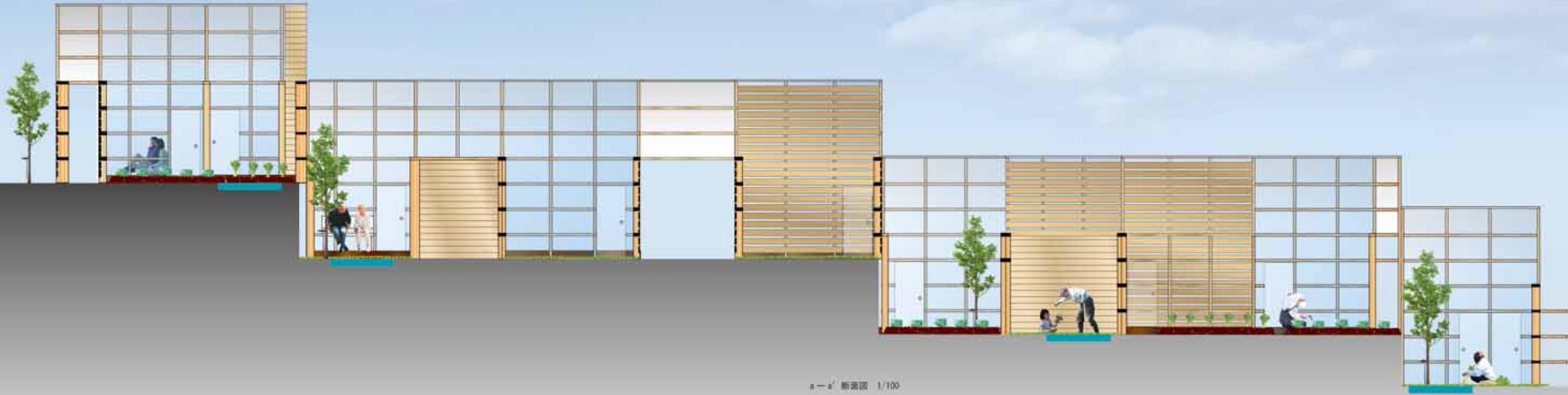


1000mm 3000mm 6000mm

C-C' 断面图 1/100

F-F' 断面图 1/100

design
section



1000mm 3000mm 6000mm

